



Mission ミッション

「基礎・基本をしっかり身につけさせ、さらに人間関係を深めていける場としての学校」これがこれからの成城学園初等学校の姿です。子どもたちが本来持つべき自由を尊重し、その自然の発育を助ける環境の中で、自然や社会についての科学的認識を高め、知的・情動的側面の発達を、技術技能および創造力・表現力とともに育成し、また、身体的・運動的な側面の発達を助成し、さらに、円滑な人間関係を築く力を養い、バランスの取れた人材の育成を目指します。

Vision ビジョン

成城学園初等学校は、一貫して、“子どもを中心に考えた学校づくり”を目指してきました。100年に亘るその伝統を踏まえ、第2世紀に向けた教育改革『100年プラン』を進めます。

■ 個性尊重の教育

子どもたちはそれぞれ違った個性を持っています。その個性が発揮できる様々な場を設け、一人ひとりの発想や思考を大切にすることで、個性を尊重し、その伸長を図り、可能性を引き出します。また、個に応じた学習を通して、「主体的に取り組む姿勢」を養い、さらに能率の高い教育を通して、基礎・基本をしっかり身につけさせます。

■ 自然と親しむ教育

緑と土に囲まれた恵まれた環境のもと、自然に存分に浸らせながら心身の健やかさとたくましさ(剛健不撓の意志)を育みます。また、「自然は偉大な教育者である」をモットーに、自然を肌で感じながら学ぶ場としての校外教育の機会を多く設けるとともに、自然を敬愛する心を育てます。

■ 心情の教育

情操教育・総合教育の領域の時間を特設し、感性に働きかけるたくさんの機会を設ける(鑑賞の教育)ことで、豊かな情操を育みます。また、創造力、表現力を伸長し、楽しみながら積極的に自己表出できる資質を培います。

■ 科学的研究を基とする教育

「教師は教育者であり同時に研究者たるべし」との教えを守り、常に向上心を持ち、研鑽を積み、日々の教育活動に励みます。また、「科学的研究を基とした実験学校」としての使命を忘れず、長年の実績を踏まえた研究を継承しつつ、社会の変化に応じた新しい視点からの教育の見直しを常に図っていきます。

■ 人間関係を深める教育

新設する「つながりの時間」や学校生活における様々な活動を通して、自己肯定や他者理解、コミュニケーション能力、社会性、思いやり等、円滑で豊かな人間関係を築く力を育み、社会の一員としての自覚を高めます。

■ 国際理解教育・三位一体の教育

英語教育の充実や「英語で遊ぼう」等の活動を通して、国際理解教育を推進し、世界に目を向け、異文化を理解・受容するとともに国際社会に貢献しようとする精神を培います。また、教師・保護者・児童の間に長い伝統の中で築かれた、心と心の行き交う教育の場を基盤としつつ、地域社会との接点をも大切に教育活動を進めます。

基礎・基本をしっかり身につけ、人間関係を深める

| 基礎学力のさらなる向上 ~授業の質と量~ |

- 各教科カリキュラムの充実
- 教師の授業実践力の向上
- 半数授業による個別指導の徹底
- 授業時間数の増加

| 人間関係の充実を図る ~「つながりの時間」の新設~ |

- 縦のつながり
グループハイキング・異年齢での校外教育・1~6年ユニットによる活動 等異年齢による活動
- 横のつながり
学級内で人間関係を深める、同年齢による活動

| 時代に即した新たな教育改革 |

- 英語教育の充実を目的とした、1年生からの英語の授業の導入
- 「城の時間」の新設による、成城独自の学級を中心とした総合的な活動の時間
- 映像科・情報科を統合し、新たな「映像科」を新設

| 古き良き伝統の継承 |

- 独自の教科(遊び・散歩・劇 等)
- みんなが主役になれる表現の場(音楽の会・劇の会・運動会・文化祭 等)
- 本物に触れる教育(音楽鑑賞会・観劇会 等)
- 三位一体の教育(教師・保護者・児童の心と心の行き交う教育の場)

| 100年プランを支える教育環境の実現 |

- 1学年36名(男子18名、女子18名)×3クラスとし、多様なグループ作りが可能な学級編成を実施
- 教育理念を具現化する新校舎の建設
- ICT機器の導入と活用の促進